

5月の活動報告



11日（日）森のコンサート報告

岡本 昇

午前10時、楽器の音色が響き渡る。一号近隣公園を暫定開放するに当って、オープニングイベントとしてこんぶくろ池・てづくり広場で「森のコンサート」が開催された。

朝から雲一つない煌めく5月の清々しい空気が流れ、この日のコンサート会場は、大きなヒマラヤ杉が森を見守るなか山桜などの美しい若葉と香り、新緑の木々の間に差し込む柔らかい光、加えて「ほおーほけきよ」と鶯の声などに包まれる。

その鳴声に押されるかの如く、石渡会長の挨拶の後に「ドルチェ・マドリナーノ」（25人中女性が20人）によるマンダリンの演奏でスタート。「追憶」「カチューシャ」などを次々に披露するや、切り株などの手作り椅子に腰をかけて聴き入っていた観客から、大きな拍手。アンコールを期待するも、「残念ながら譜面を持ち合わせていません」と奏者の言で、ちょん。観客の方々は一様に顔を見合わせ「あア…」と肩を落とす。

続いてステージに立った親父バンドの「スイングエース」は、キーボード、サクソ奏者の紅2点が彩りを添える。ビートを利かせたスタンダードジャズのほか「津軽海峡冬景色」など演歌のサービスも（拍手喝采!）。そこで大いに盛り上がる。

3番目に「柏の葉ウォーキングクラブ」の会員が、オカリナ演奏。歌詞カードを観客に配布し、一緒に「ふるさと」などを合唱。素朴な音色が優しく響き、観客と一帯となりました。





小休止をはさみ、メインの「流通経済大学附属柏高校吹奏楽部」が登場。総勢 57 人（女生徒多し）の大軍団が繰り広げる名曲の数々、そのほかビートルズの曲やディズニーメドレー、「千と千尋の神隠し」なども。演奏しながら学生達が自ら考えたというダンスのパフォーマンスも随所に披露、しかも笑顔を絶やさず躍動感にあふれ、全身からほとぼしる高校生のパワーに圧倒されること 45 分、そして古橋事務局長の閉会の挨拶でジ・エンド、となりました。

非日常の、異空間の世界に浸った 2 時間余り。訪れた方々（関係者含め約 300 人）も、おそらく感動し、音楽日和を楽しみ、酔いしれたのではないのでしょうか。演奏したアマチュアバンドの皆様に謝々。

最後に、出演依頼などに奔走されました古橋様、当日の弁当配布やテント張りなど会場設営にご尽力いただきました皆様、お疲れ様でした。